男女共同参画社会を推進するためのエンパワーメントを!!

現知

バックラッシュの正体をる

「バックラッシュ」という言葉を最近よく耳にします。
辞書には「反動」「反撃」と出ていますが、男女平等を敵視し、旧来の固定的性別役割にこだわり、男女共同参画を進める行政などをターゲットに、圧力をかける組織的現象をさします。
どのような「バックラッシュ」がおこっているのか？　「バックラッシュ」によって、男女平等を求める政策や活動を後退させるのでなく、さらに一層推進するためにはどうしたらいいのか？　共に学び合い、全国で起こっている「バックラッシュ」の動きについてお話を聞いた後、三井マリ子さんを交えて意見交換をしましょう。関係ビデオ上映も！皆さんのご参加をお待ちしています！！

【講師プロフィール】

＊米NYコロンビア大学修士修了（比較教育学、女性学）
＊女性政策研究家として年数十回の講演をこなし、ノルウェーを中心とする海外に調査に出かけ世界の男女平等推進策の紹介・評論を各紙・誌に発表し続ける。
＊国際文化会館企画部員、都立高校教員、都議２期、法政大学法学部で「政治とフェミニズム」を担当した後、全国公募 60 名の中から豊中市「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」初代館長に就任(2004年３月末まで)。
契約更新の突然の打ち切り、事実上の不当解雇に対し、昨年12月17日大阪地裁に提訴。「館長雇い止め・バックラッシュ裁判」として大きな話題を呼んでいる。

11月12日(土)午後1時30分～4時

東大阪市男女共同参画センター
「イコーラム」第1・2研修室
(近鉄奈良線若江岩田駅前)

講師：**三井マリ子**さん
(とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ初代館長)

テーマ：**「男女共同参画社会へのバックラッシュを押し返そう!!」**

参加費：500円（資料代など含む）

主催：共生社会プロジェクト We
Wは Women(女性たち)・When(いつでも)・Where(どこでも)
Eは Empowerment(能力を発揮する)を意味しています

問合せ先：
鈴木(代　表)　NPO法人CE東大阪内　０６-６６１８-８８２２
木村(事務局)　０８０-１４２１-９６５４